

森の川自然散歩

2018年3月号

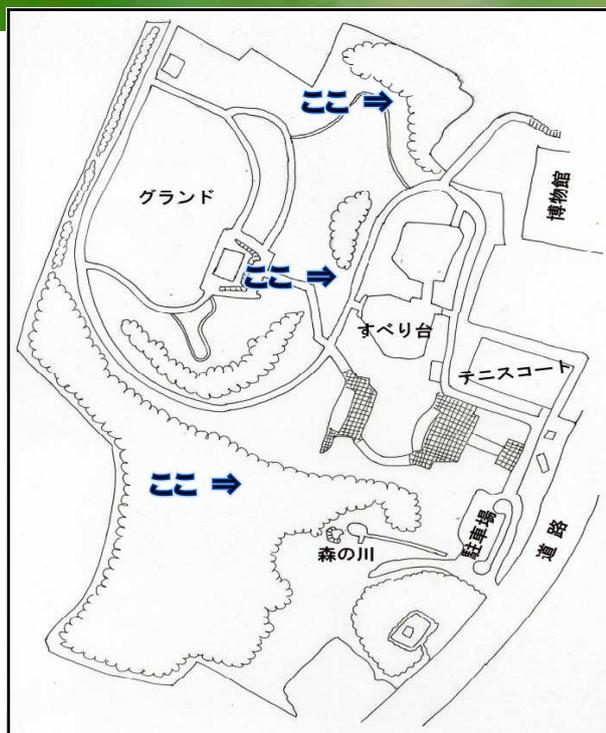


春告鳥(はるつげどり)は、もう見つけたかい

上：草むらの中にとまるウグイスの成体。

ウグイス(メモ) ▶▶▶

- 「ホーホケキョ！」でおなじみの鳥だよ。本土では、春先にこの声が聞こえてくることから春告鳥(はるつげどり)ともいわれている。
- 沖縄では山地から低地の森にすんでいる留鳥です。沖縄では年から年中「ホーホケキョ」だから、あまり春告鳥のイメージはないかも。
- 森川公園では、早朝にメジロやコゲラなどと群れをなして(混群といいます)、朝ご飯を食べているのが、ときおり見られます。
- 鶯(うぐいす)色という色合いは、この鳥の体の色からきています。えっ緑色っぽくないって？。それはきっと、メジロ色かも。



森川公園で見つける不思議

緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。

(13) 君はどこへいっちゃったの? ~ オキナワキノボリトカゲ

次の方言名は何をさしているのでしょうか。ヤマトウカー(宜野湾)、アタク(神山)、アタカー(神山・嘉数・我如古)、キアタカー(安仁屋)、アントウカー(大山)、アンタカー(宇地泊)、タンタカー(真志喜)、コーレーアカター(喜友名・伊佐)、コーレーキュー(野嵩・普天間・安仁屋・新城)、カラークュー(大謝名)。

はい、予想どおり正解はオキナワキノボリトカゲです。市内の各地で、それぞれに呼び名(方言名)がつけられるほど、私たちの身近にいる動物です。

市内でも、まだ見つけることは難しくはありません。でも森川公園では、かなり難しい状況になっています。今では、たまに見かけるだけです



右:オキナワキノボリトカゲ (大山貝塚で撮影)。

森川公園3月の花ごよみ

名前はソバでもソバはつukれない ~ ツルソバ ~

○公園の遊歩道を歩いていて、道沿いの土堤などでいろいろな植物と一緒に、草むらになっていることが多いです。名前のおお、つる植物なのですぐ区別できると思います。

○葉の間から、スーッと伸びた茎の先についている白い米粒のようなものが花になります。もうしばらくすると、花は実になり黒紫色に熟します。

○名前の由来は、ソバ(植物の)に似ているツル植物だからです。



上:森川公園のツルソバ



左:ツルソバの花

博物館で森川公園の見取り図をもらって、
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう!

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

